

2022.2.3 (木)
第24回例会
(通算3651回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	「年男大いに語る Part I」(担当：プログラム委員会)
次週例会	「年男大いに語る Part II」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー：田中 弘明君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。早いもので2月に入りまして、まん延防止期間2回目の例会でございますが、勇気あるご出席を引き続きありがとうございます。有意義な例会を引き続き重ねていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

今日は、『年男大いに語る』という例会でございます。年始に祝賀のご紹介をさせていただきました。そう思って新聞を読みましたら、日本の長寿に関する記事が出ていましたので、今日は歳に関するお話をさせていただければと思っております。ちなみに私は昭和40年生まれの56歳です。私のライバルには、元シブがき隊のモックンこと本木君、香川照之さん、吉川晃司さんあたりがライバルとして存在をしているわけです。この50歳代も「老けた」と言っていけないところなんです。というのは、この50代のお仲間にいよいよ大型新人が入って来るところで、今年は木村拓哉君が50歳を迎えるということでございます。50歳と言ってもまだまだ老けてはいられません。しっかりしなければいけないということです。というのも、日本の個人資産が2,000兆円あるらし

いのです。その2,000兆円の大半を握っているのが50代以上だということにして、この50代以上がこれからの日本で旅行や趣味など、どのような行動を取るかによって今後の日本経済を左右するというような記事が出ておりました。ですからここにいるおじさまたちもあまり貯め込み過ぎず、どんどん地域経済のためにぜひお金を使ってもらえればと思っております。そう思って年末の紅白歌合戦を見ていましたら、郷ひろみさんが70歳に近いということで、何じゃそれは、という感じなのですが。ということで、僕も60歳・70歳・80歳を迎える芸能人を調べてきました。今年60歳を迎える芸能人は、石橋貴明さん、田原俊彦さんが60歳ということです。70歳は、岩城滉一さん、中村雅俊さんが70歳を迎える。80歳は、石坂浩二さん、倍賞千恵子さんこのあたりが80歳を迎えるということで、年齢に関する認識を改めなければいけないということです。そう思って新聞記事を見ていましたら、2050年に日本で100歳以上を迎える方が、53万人になると。ということは、1990年に金さん銀さんが「金も100歳、銀も100歳」と言っていたころから60年で100歳を迎える方が140倍にな



るという記事を拝見しました。

また今、100歳以上の方に称号があることは知っていますか。『センテナリアン』という格好いい称号があるらしく、ぜひメンバーの皆さんにおかれましては、やっぱり清水先生が一番近いところにいらっしゃいますが、釧路クラブ第1号のセンテナリアンを目指して、ぜひ日々切磋琢磨していただければと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

このような話も真面目に締めたいと思っておりますが、

65歳以上で日本の労働参加率が25%、65歳を過ぎても「社会で働きたい」という方が7割を超えることで、欧米に比べてダントツの多さでございます。これは



日本人が持っている美德といいますか、社会のために役立ちたいという美德が多いと思っております。どちらにしても日本人がこのようにどんどん働いていくということであれば、65歳以上の方を確率的に高齢者と呼ぶ時代はもう終わったと思っております。

そう考えると、まさにここがロータリーの出番だと僕は思うわけですが、この職業奉仕を掲げて、このような世代が多く交流できるロータリーで、地域活性化に向けて楽しく活動をして行くことがどんどんできれば、まさにロータリーの未来は明るいと考えた令和4年の年始めでございました、というお話でございます。

今日は『年男大いに語る』ということで、素敵なお話をお話をお話をじっくり聞きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。お手元の例会案内をご覧ください。各クラブの今週の例会につきましては記載のとおりと

なっております。また2月のロータリーレートは先月と変わらず1ドル115円と案内がきております。また、1月分の『ロータリーの友』をこちらの管理ミスがありまして、配ることができませんでした。本日パーソナルボックスへ入れさせていただきますので、ご覧になっていただければと思います。2月号は、来週届く予定と聞いております。また『ガバナー月信』につきましても1月号・2月号をパーソナルボックスの棚の上にまとめて置いてありますので、ご入り用の

方はお持ちいただければと思っております。以上でございます。

司会

本日のプログラムは、プログラム委員会担当例会となっております。それでは、プログラム委員会工藤委員長、本日もよろしくお願いたします。

■本日のプログラム■

『年男大いに語る Part I』

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長



こんにちは。プログラム委員長の工藤です。3週続いてということで、このままいくと8週連続プログラム委員会がやるという話なので、結構大変です。

今日の例会『年男大いに語る』ということで、毎年恒例となっておりますけれども、今日2月3日は節分ということで、本来、夜例会でお酒を飲みながら『年男』に、例えば脇君や土橋君に鬼の面をかぶらせて豆をぶつけたかったですけれど、本当に残念です。

でも『年男大いに語る』ということで、11名の年男さんがいます。今日はPart Iということで、まずちょっと暇なので音楽でも聞いてください。(アニメ「タイガーマスク」主題歌を聴く)ということで、今年の干支は寅ということで、タイガーマスクをかけてみました。しょうもなくすみません。

今年の『年男』を発表いたします。悪の軍団の方ですね。ブラックタイガーやキングタイガーの方です。歳の順に石田博司君、25年生まれ、久島貞一君、吉田秀俊君、同じですね。37年の土橋賢一君、篠原実君、脇弘幸君、木下正明君、前田秀幸君、中島徳政君。49年は石井孝行君、二宮拓人君。の11名がおります。多いので2つに分けたところ、今日は4名しか来られなく、だいたい5分~6分話をさせていただくことになると思います。ただもっと話をしたくても時間内に収めたいので、6分を過ぎますとチンと鳴ります。あと

では、はじめに石田博司君、昭和25年2月23日生まれよろしくお願いたします。

昭和25年生まれ 石田 博司君

今年は、「五黄の寅」という年回りですけれども、私は昭和25年「五黄の寅」の生まれです。あの年あの時に、ウチの父は8人兄弟で、父の兄弟の石田家、その父のいとこのあおき家があります。あおき家・石



田家合せて子供が13人いるのですが、男の子は生まれていなかった。先に生まれているのは、昭和20年代、私のいとこは全員が女性ばかりでした。私が一族の中で初めての男児誕生。しかも「五黄の寅」ということで、随分期待があったようなのです。「博司は五黄の寅か」「五黄の寅」と随分言われて、初めての男ですから。僕が生まれて4年経ってやっと男のいとこが生まれ始めて、ずっと年上の女のいとこから「博にいちゃん」や「博にい」と言われていたので、そのような期待があったのだらうと幼心に分かりませうけれども。

小学校に上がってから、おじのひとりが「博司は虎ではなくて猫だな」と言いました。猫だなと言われた時には、何となく嫌な気もしないし、嬉しくもないですけれども。さらにそれから数年経ち、「博司は大器晩成だな」と、おじ・おばたちが言うわけです。それは何となく大器晩成という言葉の響きから褒められたのかと思っていましたが、大人になって辞書を調べてみますと、決して子供に言う言葉ではない。努力はするけれど芽が出ない人に対して「大器晩成ということがあるから」と慰めてみたり、あるいは時期が遅くなってから志を成した人に対して「彼は大器晩成だな」というほめ言葉。子どもに言う言葉ではないわけです。現に私、これまで大器晩成と言われた小学生を私以外に知りませんから。

一体どういうことなのか、60歳を過ぎてから気になります。おじ・おばに聞こうと思いましたがもう他界していません。両親も他界していません。小学生で大器晩成と言われる、その先を占ったような、予言をしたような、振り返ってみますと寂しい人生であったと思います。晩年を迎えていますけれども、いまだに大成はもちろんしていません。

60歳になってから自分の人生を振り返った時に、これは真面目な反省です。嫌なこともありました。嫌なこともされました。だけれども、されたことよりも自分がしたことの方に非常に心が痛む。60歳になってから感じていることです。あの時にもっと手を差し伸べていたら良かったのではないかと。あるいは、あれは裏切りではなかったか、といろいろなことが胸に去来するわけです。そして70歳を近くして、さらにそれが。でも自分がしたことの後悔が実は自分の人格を作っているのではないかと考えております。これは真面目なひとつの反省です。

「大器晩成」、良い言葉で「未完の大器」もありますので、これから先は未完の大器のままで過ごしてい

たいと思います。

どうぞロータリーの皆さん、長いお付き合いをよろしくお願いします。ありがとうございます。

昭和25年生まれ 吉田 秀俊君

皆さん、こんにちは。お話の上手な石田さんの後と、勇気ある皆さんの前で話すような内容は持ち合わせていませんが、今日は私と寅年との関係をお話してみたいと思っております。私の人生を振り返ってみますと、寅年はいろいろと節目の年だった気がしております。



まず、12歳の時、阿寒小学校の6年生で児童会長を務めておりました。この頃が私のピークだったと思います。非常に田舎でしたので、田舎のぼくとつな真面目な少年であったと、そう自分で言い聞かせております。

24歳の時に家業を手伝うために茨城県から釧路に戻ってきました。日立にいたものですから、家電の設計者から新聞販売店の社員と華麗なる転身を遂げてまいりました。その時の新聞販売店は極端なロングランでして、帰って来た次の日の朝3時に起きて新聞を配った経験があります。

その後、12年ほど経って36歳の時、このころには社員も増えておりましたし、極端なロングランも解消されておりましたので、義理の兄の勧めもありましてJ Cへ入りました。

それから、また12年経った48歳の時に、白幡さんに誘われて釧路ロータリーに入ってわけでありませう。J Cの在籍期間は4年間という短い期間でしたけれど、非常に中身の濃い時期を過ごしました。特に新入会員のころは、新入会員の研修や委員会が週に3回～4回あり、ほとんど家にいない時期がありまして、家族と過ごすよりもJ Cメンバーと過ごす方が多い時期がずっと続いておりました。

そんなある日のことですが、会社から帰ってきてJ Cの会合に出ようとした時に、息子が「お父さんまた来てね」と。この一言を言われた時に「J Cは人づくりや地域づくりを旨とする会なのに、自分の家庭を守れないのではないかと不安に駆られましたけれど、何とか家庭崩壊もせずに多くの仲間を作ることができました。それで、J Cで同期入会をした者が21人いて、そのうち5人が釧路クラブに入会しました。いま残っているのは、私と舟木君と浅野君、武石君と石井君です。彼もいましたけれど残念ながら亡くなってしまいましたし、浅野君は病氣療養中で休会中です。

舟木君は闘病中でなかなか例会へ出られない状況ですので2人の1日も早い復帰を願っているところであり
ます。

ロータリーは、48歳の時、白幡さんに誘われて入
りました。私が自慢できることは、スポンサーではない
かと思います。後のガバナーの小船井さん、後のガバ
ナー補佐の白幡さん、この2人がスポンサーです。ス
ポンサーは全く問題がないのですけれど、あとは本
人だけ、ですけれど。

入会から5年後に、藤井会長・青田副会長の下、幹事
を経験させていただきました。15年後に脇幹事・甲
賀副会長など多くのメンバーにサポートされながら会
長を務めることができました。皆さんもご承知のよう
に、脇君は完璧な資料とそつがない会の運営に長けて
おりました。甲賀副会長は、軽妙なスピーチで例会や
理事会をスムーズに進行してくれましたので非常に助
かった記憶があります。ですから、いまでもロータリ
ーに誘ってくれた白幡さん、脇君、甲賀君、それから私
を会長に指名してくれました五明さんに感謝の気持ち
でいっぱいであります。

そして、60歳の時ですけれど、鳥取に30年間住ん
でいましたけれど、30年後に鳥取地区から昭和に家
を建てました。その時にハウスメーカーから「この家
は頑丈ですから60年もちます」と言われたけれど、
家ももっても私をもたないと思ひながら、60歳に60
年を足すと120歳まで生きなければいけない。先ほ
どのセンチナリアンではないのですけれど100歳まで
頑張っても無理だと思ひながらいま住んでいます。何
とか長生きできるように頑張っていきたいと思ひてお
ります。

今年72歳になるわけですけれど、ゴルフをされる方
はピンとくるかと思ひます。72、ゴルフコースのパー
プレーのことです。先日の新年交礼会で青田さんが「今
年はエイジシュートを目指している」と。彼は79歳
ですから79を目指している、私も72を目指そう。
ただしグロスではなくネットです。ネットとは、叩い
たスコアからハンディキャップを引いたスコアがネッ
トと言ひますけれど、このネットで72を目指そう
と思ひております。ここ数年100を切れないゴルフ
がずっと続いておひまして、NAYUTAの会でも今日
来ている尾越君、今日は来ていませんけれど栗林延次
さん、それから先日退会されました本間先生、この3
人といつも「ビリ」とか「ブービー」や「ブービーメ
ーカー」を争っていましたから、今年は何とかそこから
抜け出して上位に食い込みたいと思ひておひますの
で、NAYUTAの会の皆さん、ぜひ温かいご声援を送
っていただきたいと思ひておひます。

6廻り目の72歳ですので、あと何回寅年を迎えられ
るか。次回は84歳、さらに次回で96歳、ちょっと
今のままでは無理かと思ひますけれど、皆さんとの縁

を大事にしながろロータリーを楽しんでいきたいと思
ひますので、引き続きよろしくおひしいたします。
ありがとうございました。

昭和37年生まれ 篠原 実君



皆さん、こんにち
は。前のお二方、い
いスピーチをしてい
ただきましたけれど
も、私は、ちょっと
変えまして、お題は
『大いに語る』では
ありませんけれども

大いに語れない、少し恥ずかしい、直近であったお話をさせていただきます。

先週の土日、職場が休みで天候も良く、特別することもなかった。家でんびりして、夕方買い物へ行って帰って来て、普通どおりの日を過ごしていました。普通どおり寝ましたが日曜日、朝起きる時に何か腰に違和感を覚えました。起きようと思ったら痛くて全く起きられない、これはまずいと思ひました。

今まで人生の中で3回ほど腰を痛くしたことがありましたが、あの時のあれがまずかったと必ず原因が分かったのですが、今回に限ってはなぜこのようになったのかが全然分からない状態です。でも、やっぱり痛いから動けない。午前中、ベッドで横になってゴロゴロしていましたけれども、昼から何とかベッドから起きるまでに20分～30分かかって何とか痛くない格好を探しつつやっと起きて、歩こうと思ったらやっぱり歩けない。秒速30cmぐらい。ヨチヨチ歩きのような状態ではまずいと思ひて、とりあえず日曜日はゆっくり休んでいた方が良くと思ひて過ごしていました。月曜日には治るだろうと安易に考えていました。

月曜日の朝、やはり起きるのに30分ぐらいかかりました。顔を洗うことも大変で、腰を痛めたことがある方は分かると思ひますが屈めません。もう、人が見ると笑ってしまいそうな格好でやっと顔を洗って、ご飯を食べるまでいきましたが、歩けない。ですから、朝7時前に職場に電話をかけて「全然歩ける状態ではないので、今日は休ませてくれ」と、31日の月曜日は休みをいただき、その日も家でずっとゆっくりしていました。

1日は、外部の監査があったものですから這ってでも出て行かなければということで、少しは回復するだろうと思ひていましたが、やはり1日の朝も起きるまでに30分ぐらいかかり靴下も履けない状態で、靴下を履くまでに20分ぐらいかかりました。

1日は何とか職場に出て、出てもソロソロという歩き方しかできない。何とか監査が終わりまして、午後からは少し調子が良くなってきたので、日に日に少

しずつ良くなるのだと思いながら過ごしてきました。いま、私はこのように立っていますけれど、立てられることが3日前は信じられない状態で、今日のこのスピーチもお話をいただいていたので、工藤さんに「ちょっと行けません」と何度も電話をしようかと思っておりましたが、何とかこの日を迎えることができて、ホッとしている状態です。まだ完全に元気よく走ることはできませんが、恐る恐る歩きながらという感じではあります。

今年60歳・年男・本厄ということで、私いままで厄払いを行ったのが1回目の24歳の本厄の時、その1回しか行ったことがありません。今年は年明け当初から嫁には「今年は絶対厄払いに行きなさいよ」と言われておまして、2月3日、今月は行こうと思っていた矢先にドカンと腰にきてしまったというような状態です。

これで厄が落ちてくれたら良いのですけれど、落ちるわけがないということもあります。今年は真面目にお参りへ行って厄払いをして、腰も何年かに1回このようなサイクルが回ってくるものですから腰回りの筋肉を鍛える運動もしつつ、人には見られたくない姿は2度としたくないと思っている今日この頃でございます。このようなあまり面白くない話かもしれませんが、大変申し訳ありません。

私がクラブに入らせていただいたのが、昨年の5月6日で、もう少しで1年経ちますけれども、毎週木曜日が楽しみでやって来ております。年が明けてからはちょっと参加される人数が少なく、コロナの影響もあるかと思っておりますけれども、今後も毎週木曜日、特に夜例会の木曜日は張り切って参加をしたいと思っておりますので、今後とも皆さんよろしくお願いたします。

どうもありがとうございました。

昭和49年生まれ 二宮 拓人君



2週連続で、ここに立たせていただきまして大変恐縮でございます。先週も割と長々と話をしまして、すでに大いに語ってしまったところもございます。つま

まらない話なのに時間もオーバーしてしまい申し訳ないと思い、今日は手短かに思っておりましたが、どうやら時間もあるようですのでお時間をいただければと思います。

今日ここで何を話そうかと正直思おまして、まず寅年と自分にどのようなエピソードや思いがあるかと振り返ってみましたけれども、あまり。寅という干支についてはすごく気に入っていて、何となく強そうですし

良い干支だと思っていました。それにまつわるエピソードというと、すごく塩っぱい思い出しかなかったという感じです。

小学校へ入ったころに、当時は野球が流行っていて、まだサッカーがブームになる前でした。友だちがみんな野球の帽子を持っているので、「自分にも野球帽を買ってくれ」と親にねだった記憶があります。その当時はファンのチームがありませんでしたので、どこのファンになるかと思っておりまして、母親から「あなた寅年なのだからタイガースにしたらいじゃない」と言われて、何となく自分もその気になりタイガースファンになりました。当時の阪神は掛布と岡田はいましたけれども、バースが来る前の弱いころの阪神でして、ユニフォームが白の縦縞のころでして、私も白の縦縞の帽子を買ってもらった記憶があります。

ただ何となく応援を始めましたけれどもイマイチ成績がパツとしないと思っていたまま、小学校3年生に上がった時に仲の良い友だちができました。その友だちが2人とも大の巨人ファンでした。それで、その友だちに言われたことが「お前、何で阪神ファンなんかやっているのだ。巨人ファンにならないと口も利かないぞ」と言われまして、私はあっさり巨人ファンに転向するという情けない思い出があります。

ここでお話をしてしまいましたが、何を話そうか考えている時は、この話をしてはとても恥ずかしいと思って別のことを話さなければと思おりました。すみません、話してしまいましたけれどもそうであります。

寅のエピソードで良いエピソードがないとすると、何を話そうか考えた時に、年男とは何だろうと思おしました。そもそも年男の年とは良いことあるのか、悪いことがあるのか、どのような年なのだろうと思お、例によってネットで調べてみました。そうしますと、これは諸説あると書いてありまして、良い年だという意見と悪い年だという意見があるようで、よく定まっていないうであります。

では、自分の場合はどうなのだろうと。先ほどの吉田さんのお話のように、私自身も吉田さんに比べると少し短い期間ですけれども、それぞれの年男の年に自分に何が起こったかを思い返してみました。

まず、12歳の時です。何が一番自分の記憶に残っているかといいますと、中学受験をして受験に落ちたことが一番の思い出であります。あまり準備もせずに思いつきで受けたことでもありましたが、私、先週、皆さんにハッピーバースデーを歌っていただきまして、2月生まれです。たまたまですけれども中学受験の初日が自分の誕生日であり、誕生日に受験をして誕生日を祝ってもらえないうえに「落ちる」ことが最初の年男の記憶であります。

12歳は良いことはありませんでしたけれども、その次の24歳の時はどうだったのだろうと思おしました。

一番思い出にあることは、いまの妻と出会ったことです。いまのと申しましたけれど、別の妻がいるわけはありませんので、いまでも婚姻関係自体は維持しております。いまの妻とその時、出会ったということがあります。私は24歳で妻と出会って25で若くして結婚して、その後23年間夫婦を続けております。そのあとの36歳の時を振り返りますと、何をやってたかほとんど記憶がないのであります。もちろん今の組織で働いておりましたし、どこの部署にいたかは覚えているのですが、割と忙しかったこともあります。プライベートで何をやってたか全然思い出せない感じです。子どもが何歳かは分かるのですが、あまり印象的なことがないなということで、つまらなくて仕事ばかりしていた36歳だったなと思います。短いわけではありますが、3回の年男を振り返りました。何もいいことがないじゃないかと、年男っていいことがない年なのだと思いかけたのですが、そのうえで先日、4回目の年男で48歳になりました。そう思って今年の滑り出しを振り返りますと、釧路の地にまいりまして単身で一人暮らしをしています。食事を作ったり、洗濯したり、掃除をしたり、全部自分でやらなければいけなくて、面倒くさいと思わないことはないのですが、釧路に来て自然に囲まれて、1月から毎週休みのたびにあちこち遊びに行っております。非常にいい経験をさせていただいていると思っております。そうやって振り返ってみると前の3回の年男はあまりパツとしない感じですが、今年の1年は釧路で素晴らしい1年にしたいなと思っております。先ほど会長からご紹介がありました個人の金融資産が

2000兆円というのは、日本銀行の出している統計であります。何年か前にその統計を作っている部所の責任者をやっておりましたが、残念ながらその2000兆円の一部が自分の手元にあるような感覚がないわけですが、それに関わらず当地で、プライベートで遊びまくって、仕事はしっかりして、当地を楽しむ1年にしたいと思っております。それが今年の抱負です。以上でございます。

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

4人の皆さま、大変ありがとうございます。来週Part IIは、今日出していない土橋君、脇君、木下君、中島君、石井君、ということです。

ちょっと調べてきました。年男の一般的な性格ということで。

良いことから言います。

- ・正義感が強い
- ・逆境に負けない強さを持つ
- ・強い信念を持つ
- ・サービス精神が旺盛
- ・チャレンジ精神が旺盛
- ・情熱的
- ・ロマンチスト

短所としては

- ・目立ちたがり屋
- ・負けず嫌い
- ・感情的になりやすい
- ・協調性に欠ける

ただ、寅年の欠点は、繊細で傷つきやすいということで、もしも寅年の年男をいじめたいならば繊細で傷つきやすいので、いろいろな所でいじると結構弱ってくると思います。

以上、今日の例会でした。

司会をそちらに返します。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■天方 智順君 やっと出席出来ました。今年も宜しくお願い致します。

今年度累計 416,000円